

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000045
事業所名	グループホーム はるた

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 子ども神輿の休憩所提供や中学校の職場体験受入を行っている。施設が地域の介護拠点の役割を担い、地域住民からの介護相談や介護用具を貸与することもあるなど日常的な地域交流が行われている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 行政や地域住民、利用者、利用者家族のほか他施設管理者等の知見者も参加し、施設状況の報告のほか認知症に関するセミナーを開催するなど認知症を理解するための機会もしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者が区の認知症専門部会に参加し、区の担当者と協力して研修事業を企画・実施している。 生活保護受給者も受入れ、区からの相談や要請など連携・協力を努めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居時から時間を取って家族に説明し信頼関係構築に努めている。家族も施設・職員をよく見ており挨拶など何気ない対応についてもお褒めの言葉を頂いている。面会時には利用者の様子を伝え意見・要望も聞き取っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	